MOVE YOUR HEART!

FC GIFU

FC岐阜
株式会社岐阜フットボールクラブ
取締役会長 宮田 博之

連載 Vol. 102

上田 智輝 選手・粟飯原 尚平 選手の紹介

上田 智輝（うえだ ともき） 選手（28歳） 背番号 31 GK

ホームタウン応援大使
岐南町

ニックネーム
トモキ、ウエ

写真：©Kaz Photography/FC GIFU

奈良県宇陀市出身、両親と４歳上の兄の４人家族で育った。小学生の時にサッカーをはじめ、体が大きいこともあり６年生からゴールキーパーを始めた。宇陀市内の中学校に通いながら、京都サンガジュニアユースに加入した。練習は電車とバスで片道約2時間をかけて通った。高校は京都翔英高等学校に進み、京都サンガユースに加入し寮に入ってサッカーと、勉学に励んだ。大学は兵庫県西宮市の関西学院大学サッカー部に所属した。

大学２年時は、関西学生リーグ戦、関西選手権大会で優勝し、更には夏と冬の総理大臣杯でも優勝し、全国制覇を成し遂げ活躍した。当然地元のJFLの奈良クラブ（現J3奈良クラブ）が目をつけない訳がなく、声がかかった。大学卒業後2018年にJFL奈良クラブに加入して３年間経験を積んだ。2021年J2大宮アルティージャに加入しプロデビューを果たしたが、病気を患い長いリハビリが必要となった。翌年2022年に再びピッチに戻り、開幕戦勝利を得た時は本当に嬉しかった。その後、膝の大怪我をし、約2年間リハビリ期間となった。リハビリ期間は苦しく厳しい時間であったが、結婚してチームメイト達と家族ぐるみのお付き合いをする中で楽しい時間を過ごすことが出来たと感謝している。怪我から復帰して2023年J2藤枝MYFCに移籍加入し16試合に出場した。大学の先輩や同級生もいて、充実した１年間であった。

今年からFC岐阜に移籍して現在６試合に出場している。岐阜のサポーターはいつも大きな歓声を送ってくれて、幸せを感じている。まだ岐阜市中心の生活だが、住みやすい街で、奥さんと愛犬のトイプードル共々気に入っており応援大使を務める岐南町はじめ各地も訪ねてみたいと話す。夢はJ1で試合をすることであるが、先ずはFC岐阜の昇格に貢献すべく頑張りますと話す上田智輝選手の活躍を見守ってください。

粟飯原 尚平（あいはら しょうへい） 選手（28歳） 背番号 24 FW

ホームタウン応援大使
各務原市

ニックネーム
あいくん、くり

写真：©Kaz Photography/FC GIFU

北海道札幌市出身。札幌市立あいの里東中学校に通いながらクラブチームのSSS札幌でサッカーを始めた。高校は道立札幌英藍高校に進み、コンサドーレ札幌ユースチームに所属し活躍した。東大阪市の近畿大学サッカー部を経て、2019年に大木元監督率いるFC岐阜に加入し、３年間在籍した。在籍した３年間で様々な経験をしたが、特に大木元監督の印象が強く残っている。自分に欠けているところを強く求められるサッカースタイルで、とても苦しかったが努力を重ね、期待に応えることが出来た。FC岐阜に加入後、年に一度母親と白川郷、高山、下呂、郡上などに行き岐阜県の観光や食事を堪能した。

その後2022年から、ロアッソ熊本に移籍加入した。2021シーズンにJ3優勝しJ2に昇格した大木元監督率いるクラブであった。移籍したその年J2を４位で終え、４チームによるプレーオフに進むことが出来た。第１回戦、第２回戦どちらも同点であったが、１回戦では自身のゴールを決め、２回戦もレギュレーションの結果勝ち進んだ。大いに盛り上がったがJ1京都サンガとの昇降格決定戦では、前半先制されるも後半に得点しそのまま1-1で試合終了となった。レギュレーションの結果J1昇格とはならず悔しい思いをした。

2023年、チームは14位に沈んだが、天皇杯ではJ1のサガン鳥栖、FC東京、ヴィッセル神戸を破ってベスト４に進み熊本中が大いに沸いた。

ロアッソ熊本で２年過ごし、今年、古巣のFC岐阜を何としても昇格させる決意で戻ってきた。現在は苦しい試合が続いているが、自分の経験を大いに生かして、チームと一丸になって活路を開いて頑張ると意気込んでいる。今は途中出場が多いが、スタメンを勝ち取り、いつの日かはJ1でプレーすることを願っています。引き続き粟飯原尚平選手の応援をよろしくお願いします。

お問い合わせ ㈱岐阜フットボールクラブ Tel.058-231-6811 FC岐阜 検索